

# 全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

B-2番 団体名： 大阪府立寝屋川高等学校クラシックギター部

自由曲 曲名： 「Canary」より第二楽章 竜血樹の島／佐藤弘和 (Quattro Palos編)

審査員名	自由曲
新堀	マナー○アナリーゼ△(編成)技術△音色△(平坦) 打音○ ズーンと低音が必要 編成が平坦な表現になりやすい 楽譜が常になりっぱなしすぎ(パート別の鮮やかな表現がほしい) 身体を曲のリズム表現に合わせてください
竹内	ノックザボディの音色を変化させていて、バランスが一部危ないところもあったと見受けられるが、良かった。 170小節目近辺での音の外しは、やや緊張感に欠けたのかもしれないが、全体に散りばめられた不協和音が和音の総体としてどう響くのか、または作曲者が意図した響きが得られているかなど、一層検証してほしい。 音楽の方向性が見えやすかったのはよかった。
猿谷	竜血樹がこんなにさわやかとはショック 指揮者の無い分、互いをよく聴いているのが好感 正しい指揮者もたまには使いましょう 同じサイズの楽器でもアンサンブルができる良い例
堀	調弦ももっとしっかり 打楽器的奏法、ストロークといった音量が出易い奏法の時に、他パート、他セクションとのバランスを考えないと ・H付近からFis→Fの譜読み違い(その後もしばしば) ・170小節目Cis→Cに読み違い →明らかなので誰か他パートでも言い合って直す 曲全体のメリハリをもっとつけたい(ラストの盛り上がりも) 主にダイナミクス
柴田	マナー8、アナリーゼ7、技術7 パーカッションも含め、曲全体がスムーズに進行している 音楽に暴力的な所はなく、優しさを感じる 後半のカナリオも面白い。もっとパンチがあればさらに良かった
中島	全拍頭をふってリズムを取っているのは要検討、課題 「カナリオス」のリズムが出現する時、もっと際立った音色で(乾いたsecoの)弾くと全体のテーマ部分との対比が鮮明になるのでは 全体に柔らかな音色で、キツイ音は全然なく破綻もないが、エッジの効いたシャープな音も欲しい。

## 【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341